

ヨミネスしばた

Yominesu Shibata News

議会だより

特集

「予算」ってどうやってできるの？



第155号

発行／新発田市議会
編集／広報広聴委員会



「ももクロ春の一大事 2025 開催事業」について令和7年度一般会計予算審査特別委員会でまちの賑わい創出につながるように活発な議論がされました。



「予算」ってどうやってできるの？

議会をもっと知ってもらうため、第152号から市議会のさまざまな情報を特集しています。
今回は、市の「予算」ができるまでの流れをご紹介します。

1年間でどんなサービスや事業を行うか、市長が作成した予算案について、議会でしっかりと議論を重ね議決します。

「予算」ができるまで

例年、2月定例会では、一般会計予算審査特別委員会が設置され、市長から提出された予算案を審査します。

①

予算の検討

市民の意見や地域の状況などを踏まえ、市役所の各課等で次年度に必要な予算を検討し見積もります。

②

予算案の作成

各課等から出された案について、市長は緊急性や優先順位などを検討し、最終的な予算案を作成します。

本会議 2月定例会

開会

③

議案の上程・説明

予算の成立には議会が議決をする必要があります。市長は議会に予算案を提出し、説明します。

④

質疑

市長の提案理由説明について議員が質疑をし、それに対し市長等が答弁を行います。

⑤

委員会付託

提出された予算案をさらに詳しく審査するため、議長は予算案を委員会に付託します。

一般会計予算審査 特別委員会

議案の

⑥

質疑

議案の詳細な説明を受けて、委員(議員)が市の執行部へ質疑を行うなど、きめ細かく審査します。



一般会計予算審査については、6ページから詳しく掲載しています。



予算の成立後も、議会では、正しく事業が行われているかチェックしていきます。



12

事業の実施

市は、それぞれの事業計画などに基づき、各施策を実施します。

11

新年度予算の成立

議会で可決されると、新年度の予算が成立します。

閉会

9

審査結果報告・討論

予算審査特別委員会委員長と各常任委員会委員長が審査結果を報告したあと、改めて討論を行います。

10

採決

本会議ですべての議員が議会として予算案を可決するか否決するかを決定します。

審査

7

討議・討論

予算案に対する意見について自由討議をします。その後、賛否を討論します。

特別会計・企業会計は各常任委員会で審査等を行います。

市長総括質疑

市長に方針等を直接質疑する案件がある場合に行います。

8

採決

委員会として予算案を可決するか否決するかを多数決により決定します。



1 月臨時会

物価高騰対応総合経済対策を行います

● 地域経済の成長、生産性向上等に向けた取組

- ・ 肥料等の農業用資材や輸入飼料等の高騰の影響が著しい水稻農家及び畜産農家へ、物価高騰に伴うかかり増しに対する経費を支援します。
- ・ 観光事業に対する需要の喚起及び経済支援対策のため、「今・得キャンペーン」とインバウンド向け補助金を実施します。
- ・ 物価高騰の影響を受けている消費者、生産者、小売・飲食業への一体的支援のため、「新発田市地域応援商品券」の発行等を行います。

● 子育て世代の経済的負担を軽減

- ・ 小・中学校等の給食費の値上げ分を支援します。

< 経済建設常任委員会での質疑 >

Q 地域応援商品券の販売及び使用開始は。

A 令和7年3月の広報しばたに購入券を折り込み、販売は3月10日予定。使用期間は3月10日から7月31日までである。



※販売は終了しました

主な議案等に対する賛否の一覧

詳細およびここに記載以外の議案は
市議会ホームページをご覧ください。



1 月臨時会



2 月定例会

1 月臨時会	議第95号	令和6年度新発田市一般会計補正予算第10号	全員賛成
2 月定例会	議第100号	新発田市子ども基本条例制定について	全員賛成
	議第121号	令和6年度新発田市一般会計補正予算第15号	賛成多数
	議第131号	令和6年度新発田市一般会計補正予算第16号	賛成多数
	議第132号	令和7年度新発田市一般会計予算	賛成多数
	議第134号	令和7年度新発田市国民健康保険事業特別会計予算	賛成多数
	議第145号	市道路線の廃止について	全員賛成
	議第146号	市道路線の認定について	全員賛成

主なものをご報告します

2 月定例会

令和7年度新発田市行政組織体制を見直し、組織のスリム化に取り組みます

- 新発田市行政組織条例の一部を改正する条例制定

<総務常任委員会での質疑>

Q 改正の概要は。

A 今後も人口減少が進む中で、組織のスリム化を加速させなければならないと考えた。システム化や業務の見直しにより、総務課と人事課を統合して「総務課」、税務課と収納課を統合して「税務課」とする。

Q 職員の負担増が懸念される。人員削減が前提か。

A 管理職を削減し、窓口の一般職は増員していきたい。

条例の一部を改正し、国民健康保険税額を改定します

<社会文教常任委員会>

国民健康保険事業の健全な運営を図るため、令和7年度国民健康保険税額の改定に必要な条例改正を行います。

基礎課税額(医療分)及び後期高齢者支援金等課税額に係る所得割額の税率及び均等割額・平等割額の税額並びに介護納付金課税額に係る所得割額の税率及び均等割額の税額を改め、年額で一人当たり平均6,151円、5.8%、世帯当たり平均8,735円、5.9%の負担増となります。

カルチャーセンターや小・中学校など公共施設の照明設備のLED化に取り組みます

- 脱炭素社会推進事業

<総務常任委員会での質疑>

Q LED化について、当初より有利な企業債を活用し進んでいるとのことだが、全体計画は。

A 5年間で100施設を予定している。令和6年度は8施設で実施し、令和7年度は18施設を予定している。

紫雲の郷館に係る経費等予算を補正します

- 紫雲の郷館管理運営事業

<経済建設常任委員会での質疑>

Q 飲食店テナント募集の結果は。

A 市内外に広く情報提供したが、正式な応募はなかった。根本的に方法等を再検討したい。

新発田市子ども基本条例を制定します

<社会文教常任委員会での質疑>

Q 条例制定後は、どのように計画を策定していくのか。

A 今後の計画については、これまでの「子ども・子育て支援事業計画」と「子ども・若者計画」「子どもの貧困対策推進計画」の3つの計画を1つとして「子ども計画」とする予定。子ども・子育て会議での審議を経て計画策定する見込み。

Q 今後の新発田の未来を担う大切な条例になる。パブリックコメントなどで直接こどもの声を集めて制定したのか。

A 条例の前文については、こどもたちとのワークショップの中で、こどもたち自らが大事だと思うことや地域に対する思い、新発田の好きなところや大事にしたいこと、これから欲しいことなどを聴いて、そこから言葉をもらった。



令和7年度一般会計歳入歳

「挑」をまちづくりのキーワードに前年度比3.2億円増とし、4つの柱による施策をより一層強く推し進めていくための3年連続の超積極予算となっています。4つの柱の主な施策を紹介します。

健康長寿

歯科健診・予防事業

口腔機能の低下防止や、生活の質の向上を図るため、高齢者の歯科健診にオーラルフレイル指導を追加

介護人材確保対策事業

介護人材不足解消に向けた介護入門的研修事業を新たに実施

少子化対策

母子健康審査事業

新たに5歳児健康診査を集団方式により実施

ライフデザイン・結婚支援事業

中学生向けのライフデザイン講座を、胎内市及び聖籠町との連携により、対象を高校生まで拡充

産業振興

オーガニックSHIBATAプロジェクト

米の輸出において、アジア、アメリカに加え、新たにヨーロッパもターゲットに拡大

空き店舗バンク創設

時代に合った商店街づくりと周辺の賑わい創出を図る

教育の充実

小・中学校教育扶助事業

保護者負担の軽減を図るため、市内6校7教室設置している通級指導教室に係る通学費支援を新設

新発田城土橋門整備事業

新発田城土橋門整備に向けた基本設計等

議員間で意見を交わした「自由討議」の内容です

ふるさと納税について

事業委託により良い方向に向かっている。食品の返礼品拡大も含め、しくみを増やしていくことが必要では。

■新発田米は生産量が多くおいしい。納税額を上げていく好機だ。

■「モノ」だけではなく「コト」で新発田をアピールする方法もある。

■今までにこだわらず全国に新発田を発信し、注目を集めるような返礼品の開発も大事。

防災・減災対策について

地震と大雪など複合災害を想定し、除雪体制、避難道路の確保などの検討は。

■設備や装備に備えはある。それらを使えるよう自主防災組織などが地元に根付くことが重要。成り手不足も課題。

■地域コミュニティの課題は大きい。訓練や市や県の防災イベント参加で意識向上も大事。

子育て支援について

各種相談窓口の市民への一層の周知が必要では。

■施設も窓口も充実しているが市民により分かりやすくなるようにSNS等、色々な手段を活用して伝えていくことが大事。

■これだけ頑張っても出生数が減少している。こどもを産みたいと思う環境整備が必要。

健康推進について

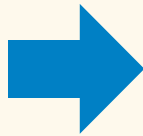
口腔ケア条例によって成果が出てきている。今後の健康推進取組強化策は。

■健康長寿は自治体の責務。議会としてもいち早くオーラルフレイルに着目した。早期ケアの重要性をアピールして強化を。

■がん検診にも力を入れ、口腔ケアと複合的に課題解決を。

出予算を審査・可決しました

令和6年度
約 **463.8** 億円



令和7年度
約 **467** 億円

対前年度 **+ 3.2 億円 (+ 0.7%)**

一般会計

予算審査特別委員会

【委員長】渡邊 喜夫

【副委員長】高橋 茂

湯浅佐太郎 五十嵐良一

板倉 久徳 宮野 清隆

小柳はじめ 宮本 佳太

加藤 和雄 長島 徹

中小規模事業の振興策について

行政が政策を立案するにあたり、行政と民間でプラットフォームを立ち上げるなど、情報共有するしくみが必要では。

- 融資を希望したい事業者は多いと思うが、体力・余力がないのが実情であると思う。
- 中小企業の現状は非常に厳しい中、対象者を絞りスポット的に支援するような効果的に使える市独自の支援策を。
- 市の独自施策については、議会でも議論が必要。

まちなか活性化について

新道・掛蔵エリアの道路の美装化が始まるが、空き店舗など問題もある。魅力の発信を考える必要がある。

- 石畳にするなどインスタ映えの景観が大事。併せて、昼も飲食できる食堂も必要。
- 歴史ある飲食店ブランドを、どうリブランディングするかが大事。
- 官民連携し、街を賑やかにしていく必要がある。

ブランド農畜産物振興について

新発田牛や食味の良い推奨米などブランド化に向けた政策を充実すべきでは。

- 価格的な保証がないとブランドが育たない。
- 需要と供給のミスマッチにならない政策が必要。
- 意欲のある若い人や若手農家に手厚く財源を振り分ける必要がある。

市長総括質疑

●歴史資料館建設に向けたふるさと納税の使途メニューについて

Q ふるさと納税事業は、令和6年度から民間委託し、当市の寄附額に成果が出つつある。歴史資料館の整備計画が具体化する中、ふるさと納税の寄附メニューに新設できないか。

A 歴史資料館を建設することはほぼ間違いないので、ふるさと納税の寄附メニューに載せたい。



●手遅れにならないための、まちなかの賑わい創出に係る施策の展開について

Q 令和7年度予算では、まちなか賑わい創出事業は前年度比3倍を超える予算となっている。賑わい創出に結びつくのか。

A 結びつくよう予算計上し事業計画を策定している。若い人たちがリノベーション事業を活用して上町、下町で商店が増えてきている。中町もしっかりサポートしていく。

討論

令和7年度一般会計予算について、賛成・反対の意見を述べています。

賛成

令和会 **五十嵐 良一**

3年連続の対前年度比増額となる超積極的予算である。ふるさと納税の収入増加に向けた取組など、財源の確保を図り健全財政を堅持する工夫が窺える。幾つもの事業は有効的で、特に街なみ環境整備事業には賑わいが戻ることを期待したい。胸躍る新発田市を実感できる未来に意義のある予算となることを心願し、賛成討論とする。

賛成

共道しばた **長島 徹**

日々の暮らしや経済に厳しさが増す時代の中にあって市が掲げる四つの柱を力強く推し進め、市民の身体・心・命、教育、農畜産業・商工業を守り発展させる「誰一人として取り残すことのない、地方が輝く時代の実現に挑む」一般会計予算に賛成します。特に、まちなか賑わい創出事業では目で見える結果を残すことを強く希望します。

賛成

ひらく会 **小柳 はじめ**

過去最大規模予算で個人市民税は上振れしているものの、地域経済は急激なインフレ等で瀕死の状態であり細心の注意が必要だ。涙ぐましい歳出削減と過疎債や公適債などの財源をフル活用した投資で市債残高を計画的に減らし、財政調整基金残高は30億円を維持され財政上の不安も無い。政策上の提案は真摯に取り組んで欲しい。

賛成

公明党 **石山 洋子**

事業の拡充と縮小を図り有益な交付金、寄附金、過疎債等の活用で全体的に詳細なバランスをとった予算であると評価。国と呼応し行うライフデザイン結婚支援事業は予算増額で未来の結果に期待する。地方創生の切り札である観光は交流人口の拡大、地域経済活性化へのチャンス。本予算が確実に執行され賑わい創出に期待し賛成する。

反対

日本共産党市議団

加藤 和雄

市民・中小業者は物価高騰で生活が大変厳しい。市政には市民の暮らしや営業を守る喫緊の施策が強く求められるが、そのための積極的な予算になっていない。給付金は支給範囲を拡充して支援すべき。学校給食費は無償にすべき。せめて値上げ分は支援すべき。農業や地域経済は地域循環型を追求すべきで、その予算措置が必要。

賛成

無所属 **中村 こう**

市長公約の4つの視点での施策が、新規と拡充の事業により早期進展を図ろうとする姿勢を感じます。市道の改良に力を入れてくれたことに感謝し、脱炭素の取組や地域おこし協力隊活躍の場の拡大とDXの推進、オーガニック事業の進展に期待します。人権尊重を重視し事業執行に市長・職員一丸となって取り組んでいただきたい。

7つの特別会計、2つの企業会計の予算を 審査・可決。主な議論は次のとおりです。

【コミュニティバス事業】

- Q** 紫雲寺地域で新たな運行が開始しているが、開始後の地域から寄せられた要望や意見、利用状況は。
- A** 藤塚浜工業団地の就労者が帰宅時に利用できる便を求める声があり、藤塚浜地区から市街地に戻る回送を活用し実証運行している。全体の利用状況は、1日50人程度、1便あたり平均5人程度の利用者数があり、早い段階で定着していると考えている。今後も地域の声を聴きながら、可能な範囲で見直していきたい。



【下水道事業】

- Q** 下水道管渠の腐食・劣化について、市民が安心して使える下水道施設の点検等対策は。
- A** 維持修繕に関する基準が平成27年度に改正され、腐食のおそれの大きい下水道施設は5年に1回点検している。現在、道路陥没につながる腐食や劣化は認められない。また、月岡温泉等特殊な環境下で腐食が進行するような箇所では、計画的に改築更新を進めている。

【水道事業】

- Q** 全国的に問題となっているPFASについて安心していただけるように市民にもっと知らせることが必要ではないか。
- A** これまでの市の検査ではPFASは検出されていない。令和7年度から年4回の検査を実施予定で結果はホームページで周知する。
- Q** 安心して市民が水を飲むための施設の維持管理や検査など対応しているか。
- A** 埼玉県八潮市の道路陥没事故を受け、緊急的に基幹管路のパトロールを実施した。水道管は常時飲み水を供給しているので管路内部を検査するのは難しいため、目視による検査となる。また、日常的に配水量を24時間監視し、漏水発生を発見できる体制をとっている。

このほかに、特別会計には、土地取得事業、国民健康保険事業、介護保険事業、後期高齢者医療、食品工業団地造成事業、藤塚浜財産区があります。

議会を傍聴してみませんか

市議会では市民に身近な問題を審議しています。

市民が市議会における審議状況を知ることができるように、本会議や委員会を原則として公開しています。

市民はもちろん、だれでも本会議や委員会の審議を直接ご覧いただけます。



みなさんも
傍聴にお越し
ください！



市長おしえて！ しばたの未来は？どこへ向かうの？

代表質問とは？

主義、主張を同じくする議員で構成された「会派」の代表者が、市長の施政方針や予算編成方針に対して質問を行います。

代表質問の内容の一部概要をご紹介します。

代表質問の内容を動画で視聴できます。市議会ホームページの「議会中継」から「本会議録画配信」を検索するか、スマートフォンやタブレットで二次元コードを読み取りご覧ください。



Q1 「住みよいまち日本一、健康田園文化都市 しばた」実現に向けた新たな事業について

◆ 令和会 比企 広正 議員



- Q 大峰保育園改築整備事業の取組により、脱炭素社会の実現に向けた道筋が見えるか。
- A 県内初となるZEB基準を満たす公立保育園として整備。再生可能エネルギーを活用し、環境に配慮した施設となる。波及効果に期待する。
- Q 「新道・掛蔵エリア」を『城下の台所』として、店舗などの景観整備や道路美装化等を実施することについては。

- A 夜に限定せず日中も含めた賑わいを創出するため官民一体で取り組み、更なる魅力向上を目指し、訪れる方々へ発信していく。



大峰保育園イメージ図



Q1 公共施設等総合管理計画の課題について Q2 原発再稼働を県民投票で決める署名について

◆ 共道しばた 三母 高志 議員



- Q 現行計画の公共施設総量の約20%減目標を改定案では39.5%減目標とした。市民サービスの大きな低下を生じさせず縮減可能か。
- A 施設縮減により市民サービスに不便をかけることになることと認識するが、福祉など市民サービス全体の維持向上につながると確信している。
- Q 市民の生命と安全を守る責務を有する市長として、柏崎刈羽原発再稼働に関する是非

を決める署名活動と条例制定への見解を聞きたい。

- A 県は「再稼働の判断材料」を検証総括した上、県民に責任をもつ説明が重要。署名及び条例制定に対しては県議会の議論を見守りたい。





Q1 更なる女性活躍推進のために
Q2 こども発達相談室の機能強化と支援の充実を

● 公明党 石山 洋子 議員



- Q** 女性活躍推進にデジタル人材育成は欠かせないメニュー。取組は。
- A** デジタル分野で女性の就労とスキルアップ支援、環境整備に努める。
- Q** 女性の声を聞き、関係機関と連携し女性活躍を進める突破口としては。
- A** 様々な世代や立場の女性の意見を聞き、現状把握が重要と考える。
- Q** 相談室に専門性の高い作業療法士を配置し

学校訪問支援を行っては。

- A** 相談室では制度上できないが児童発達支援センターひまわり学園に学校訪問支援の実施をお願いしたい。
- Q** 児童発達支援センターとの一元化も踏まえ今後の運営について。
- A** 意見交換から始めたい。



Q1 県の主食用米増反を受け、市の農業施策は
Q2 高すぎる介護保険料の引下げを

● 日本共産党市議団 宮村 幸男 議員



- Q** 県の3.5%増産目標を受け、市の増反割合は。また低収量の中山間地に増反傾斜配分はできないか。
- A** 市の割合は31,606t、前年比2.9%の増産方針。中山間地の傾斜配分はできない。
- Q** 中山間地の所得向上への助成強化を図るべき。
- A** 国や県の事業を活用し支援している。
- Q** 制度開始から保険料が倍増しているが低減

できないか。市の調査結果を踏まえて対策や独自策で介護の質向上を求めたい。

- A** 制度開始時の市の保険料月額2,900円から5,950円まで上昇したが、R6月額5,400円に下げた。県内20市で最も低額である。



Q1 人口減少対策はUターンと集住化に特化せよ
Q2 ふるさと納税50億円と新たな財源の検討を

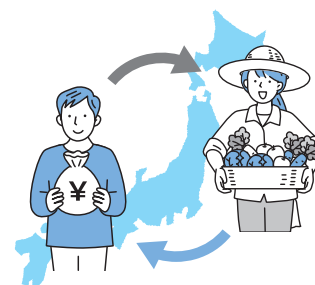
● ひらく会 小柳はじめ 議員



- Q** 同窓会補助の創設など若年出身者の故郷とのつながりを積極的に支援すべきだ。
- A** 関係人口創出事業で2団体に20万円を予算化しているが若者向けにはSNSの情報発信強化を行う。
- Q** 中心地である基幹病院のある駅前～市役所間への集住政策を強力に推し進めるべきだ。
- A** R7～南BP内のエリアでコンパクトシティの形成を計るが集住化を主導する考えはない。

- Q** 民間委託に移行し米不足の追い風もあり早速効果が出ているが、寄附単価の向上やコト消費も強化すべきだ。

- A** 一番人気の月岡温泉感謝券に飛行機や新幹線を組み合わせるなど単価を高める。



一般質問

今後の生活 どう変わる？どうなるの？

一般質問とは？

私たちの暮らしに関係する身近で大切な問題について、議員が市長や教育長に直接聞いたり、提案をします。

一般質問の内容の一部概要をご紹介します。

一般質問の内容を動画で視聴できます。市議会ホームページの「議会中継」から「本会議録画配信」を検索するか、スマートフォンやタブレットで二次元コードを読み取りご覧ください。



Q1 歴史資料館の建設計画について Q2 新発田城の桜について

● 板倉 久徳 議員

- Q 歴史資料館建設に向けた今後のスケジュールは。
- A 庁内検討委員会を立ち上げるよう担当課に指示した。R11年から歴史資料館整備に着手できるよう取り組んでいきたい。
- Q 「中途半端なものを作って」とならないように考えるが、市長はどのくらいの規模のものがふさわしいと考えるか。
- A 「城下町新発田らしい！」と評価を頂くよう

な資料館であるべきと思っている。

- Q 石垣沿いの桜は生育状況が悪く、見ていて切ない。今後、専門家に相談するなどして進めていく考えはあるか。
- A 今後も更に専門家の調査を実施して意見を聞き維持管理していきたい。



Q1 夜間中学設置の意義

● 長島 徹 議員

- Q 外国人が「言語・識字」の問題から孤立せず生きていくための学びの場の必要性について。
- A 外国人労働者やその家族に対する日本語学習支援はボランティアで新発田日本語教室が学びの場を提供している。
- Q 様々な理由で小・中学校に通うことができなかった学齢期を過ぎた多くの方々の学び直しの場は必要であり、急務と考えるがどのように捉えているか。

- A 公立夜間中学が県内に無い現状に憂慮している。しかし文科省の方針に基づき県や新潟市が中心となって検討すべきであるとの考えに変わりはない。



群馬県立夜間中学校





Q1 スフィア基準に基づく避難所運営指針

Q2 個人情報保護と募金活動

● 若月 学 議員



- Q トイレの数はスフィア基準の20人に1つ、男女比1対3となっているか。
- A 災害時応援協定で仮設トイレなどで対応可能。
- Q 今の避難所テント、ベッド数は。
- A 段ボールベッド130個、段ボール仕切2,000枚など備蓄。
- Q 3.5㎡/人のスペース確保となっているか。
- A コロナ対策で市では4㎡/人となっている。

- Q 募金袋の氏名金額が見える集金は個人情報保護の観点から配慮が必要では。
- A 記入は任意であることを自治会にも再周知し、適切な体制を構築する。
- Q 募金袋の個人情報保護シールなど検討しては。
- A 個人情報取扱いに配慮する方法を協議する。



Q1 寺町の賑わいに支援を！

Q2 新発田市社会福祉協議会との連携強化を！

● 中村 こう 議員



- Q 寺町における賑わいイベントに一層の支援を。
- A 今後も自主的なイベントに対し継続的に支援していく。
- Q 寺町の旧市営駐車場を整備して有効活用を図ってはいかがか。
- A これまでも臨時駐車場として貸出してきた。整備については検討してみたい。
- Q 社会福祉協議会の理事会から離れ、福祉事業の連携が弱くならないか。

- A 引き続きしっかりと手を携えて福祉向上を図っていききたい。
- Q 小・中学生のひきこもり対応に同協議会と教育委員会は連携がとれているのか。
- A 今後も連携を継続し小・中学生の不登校と若者の自立支援に取り組んでいく。



旧市営駐車場跡地



Q1 公共交通について

● 宮野 清隆 議員



- Q 市の公共交通の方向性を示した「新発田市地域公共交通計画(5ヵ年)」の令和6年度の動向は。
- A しうんじ号の運行開始。既存路線においても実情に合わせて変更。
- Q 市街地にワゴン車両を導入し、住宅地の運行を検討する余地はあるか。
- A 市街地循環バスの充実が先決。ワゴン車両の導入は現状難しいが、今後の選択肢の一つとして考慮する。

- Q 市街地の時間帯による交通空白地帯の解消策として公共ライドシェアの導入を検討できないか。
- A 公共ライドシェアの導入は考えていない。ワゴン車両や日本版ライドシェアの活用で代用検討。





Q1 6つの姉妹・友好都市周年事業等、関係性は



◎ 広岡けんじろう 議員

- Q 今年で姉妹都市締結40周年の長野県須坂市、30周年のアイオワ州オレンジシティとの周年事業、交流等計画はあるか。
- A 市として交流事業等の計画は無く、関係団体間の交流を側面から支援したい。
- Q オレンジシティに連絡をしてはいかがか。
- A オレンジシティは遠く訪問は厳しいが、30周年なので、こちらから連絡するよう指示する。

- Q ミズーリ州セントジェームズ市、韓国全谷邑の交流事業が停止しているとのことだが、再開する予定はあるのか。
- A 再開する予定は無く、関係性は自然と解消していく。姉妹・友好都市間の解消手続き、書面はない。



オレンジシティ
【写真提供／敬和学園大学】



Q1 小・中学校の一人一台端末の学力への影響は

Q2 オーガニック食材を給食に導入しては



◎ 惣山かすみ 議員

- Q デジタル端末の長時間利用により学力が低下し、紙の教科書に戻す国もある。宿題を紙で出すなどの対応は。
- A 個別最適な学びや協働的な学びのために端末を活用。学校が適切に判断している。
- Q 教員が端末で自宅でも仕事をするところがあると聞か、メンタルヘルスへの影響や対策は。
- A 端末持ち帰りは個々の判断。教員のメンタル影響はない。状況把握に努める。

- Q オーガニックや減農薬農家を把握し、給食への導入補助の考えは。
- A 野菜の生産者把握や量の確保ができず導入は難しい。米は市内産コシヒカリを使用。



Q1 带状疱疹ワクチンの定期接種化について

Q2 主食用米の高騰と需給調整について



◎ 渡邊喜夫 議員

- Q ワクチン接種助成を開始して1年となるが接種した人数、執行予定額は。
- A 接種者547名、高齢者が7割。731万円、一定の成果と認識。
- Q 50歳以上全ての年齢を接種対象者にしていただけ定期接種化で65歳が対象に、市の予防接種が後退するのでは。
- A 市独自助成を継続すべきは理解できるが带状疱疹だけ特別扱いは影響が大。市独自助

- 成は1年間で終了。
- Q 主食用米の需要に応じた生産誘導策は。
- A 重点支援地方交付金や産地交付金を活用。
- Q 政府の備蓄米放出の決断について市長の見解は。
- A 令和の米騒動と言われた。米価が適正になることを期待。



新米が積まれた倉庫



Q1 持続可能なまちづくり施策の現状と展望

宮本 佳太 議員



- Q 若年女性が活躍できる就業環境整備に向け、えるばし・くるみん等認定企業増加策は。
- A 認定への各種啓発や県制度の改正に合わせ周知に努める。市独自の認定・表彰制度は考えていない。
- Q 市長が交流する経営者にジェンダーギャップの問題認識はあるか。
- A 問題視する声は現状聞いていない。
- Q 二地域居住推進について、法改正に伴う市

の具体的な計画は。

- A 直接的な支援メニューが現状見えず、居住者への経済的支援含め計画なし。
- Q 将来的に持続可能なインフラ維持と市中心部への集住計画は。
- A 集住より、道路・上下水道の適時柔軟な計画見直しで対応。



Q1 子ども医療費の無料化について

Q2 学校給食費の無償化について

高橋 芳子 議員



- Q 子ども医療費助成制度のR 5年度の概要は。
- A 入院助成は2,382件、4,803万円。通院助成は10万6,772件、1億8,236万円。
- Q 通院無料化に必要な財源はいくらか。拡充する計画は。
- A 新たに7,800万円必要。0～2歳児に感染症等が多くR 8年度無料化めざす。
- Q 学校給食費の値上げ据え置きに交付金の拡充できるか。

- A 交付金で2%値上げを支援し、R 7年度は7%値上げとなる。
- Q 未納状況や就学援助状況は。石破首相の「8年度から小学校を先行して実施」表明に速やかな対応を期待する。
- A 未納は4世帯。就学援助は減少傾向。



Q1 高齢者等のゴミ出し支援について

Q2 被爆80年にふさわしい平和の取組を

加藤 和雄 議員



- Q 6月議会で、支え合いの地域づくりに向けて取り組むと答弁あったが、その後の進展は。
- A R 7年度新規事業創設し、介護人材確保や生活支援の担い手の拡大につなげる。
- Q ゴミ出し支援を制度化すべき。
- A 支援は喫緊の課題。自治会や地域に問題提起し速やかに取り組むよう担当課に指示。
- Q 広く市民が参加できる平和の取組を。
- A 例年の事業に加え、平和の大切さを実感できる催しを行いたい。

- Q 国は、禁止条約に参加しないばかりか締約国会議にオブザーバー参加しない。参加を呼び掛けるべき。
- A 平和首長会議を通して政府に要請などする。



研修・視察の報告



◎議員政策勉強会 <2月21日(金)>

■新発田市のまちづくりについて

講師 みらい創造課長 樋口 茂紀さん

■カーボンニュートラルの取組について

講師 環境衛生課長 高澤 悟さん

■オーガニックSHIBATAプロジェクトについて

講師 農林水産課長 渡邊 誠一さん

長岡技術科学大学 機械分野 修士1年 永沼 光星さん
(有) アグリ・システム 代表取締役 斎藤 斗南さん



「まちづくり総合計画2024～2031」の概要説明があり、その後、カーボンニュートラルの取組について説明を受けた。ゼロカーボンシティ宣言からの政策方針について、2050年の最終目標100%削減へ向けて、LED化やZEB化など省エネの徹底と再生可能エネルギーの導入で実現していくと説明があった。議会としても、地球温暖化対策には意識を高く持って取り組んでいきたい。

農業政策においては、有機米栽培を行っている、(有)アグリ・システムの斎藤氏より、有機米は美味しく収入についても良く、今後も続けていきたいが、雑草や病害虫との壮絶な戦いなど、栽培に関しての苦労や現状の問題点などの報告があった。そして、スマート農業実現のために、キネス天王を拠点に、有機栽培水田で活躍するロボットの研究開発を行っている、長岡技術科学大学の永沼氏から、機械のしくみや開発の現状などを報告していただいた。出席議員は生産者の悲願であるロボット開発が実現すれば、有機栽培面積が一気に拡大できるのではないかと思います。農産物の高付加価値化と輸出などの有利販売、産地ブランド化について、現状と課題を見極め、持続可能な農業の実現に向けて今後も新発田の農業を支援していきたい。

社会文教常任委員会 意見交換会

1月23日、(一社)新発田北蒲原医師会、(一社)新発田市歯科医師会、(一社)下越薬剤師会の方々と社会文教常任委員会委員が意見交換会を行い、健康長寿に向けた現状と課題などについて意見を交わしました。

市が目指す将来都市像の1つに「健康長寿」に向けた取組があり、各団体の代表の方々からそれらの評価や課題についてご意見を伺った他、今後の課題として災害時の医療体制についても意見交換をしました。市議会としてもこれをきっかけに、今後も情報交換を深め、協議していきたいと考えております。



共道しばた

夜間中学校では実際の授業を視察することができた。生徒さんと先生の真剣な眼差しと笑顔が溢れる教室が印象的。新発田市の市民団体が令和7年4月に県内初の自主夜間中学を立ち上げている。意義深い取組を支援したい。



群馬県立みらい共創中学校
(夜間中学校)について
2月19日 群馬県



地域の名産品を
販売する「自慢機」

群馬県庁の
手掛ける
官民共創
スペース
「NETSU
GEN」
について
2月20日
群馬県

四街道市議会行政視察に対応しました

1月21日、千葉県四街道市議会の広報広聴特別委員会が議会だよりのリニューアルについて行政視察のため来訪されました。

市民の方に親しまれる広報誌をお互いに目指し、活発に意見交換ができました。



鹿沼市議会行政視察に対応しました

1月29日、栃木県鹿沼市議会の議会運営委員会が議会改革の取組について行政視察のため来訪されました。

議会の活性化に向けて、議会改革や議員定数及び議員報酬について様々な議論を交わしました。



請願・陳情の処理経過及び結果

議会で採択された請願や陳情について、その処理経過や結果について、12件の報告がありました。そのうち、2件についてお知らせします。

請 願

件 名 第3次勧告の完全履行により悪臭発生を止める措置を求める請願書
採択年月日 平成30年3月13日

処理結果の概要

請願採択当時は、市と事業者が直接交渉ができず、立入検査が1年以上できない状況であったが、令和元年度から市の立入検査を定期的実施し、令和3年度以降、随時、市・県・事業者で臭気低減に向けた具体的な協議を開催している。これまで、住民代表と事業者の代表取締役による意見交換を実現し、臭気発生の原因を相互に理解し、事業者による効果的な臭気対策ができている。事業者による第3次及び第4次改善勧告を完全履行していることに加えて、市から住民、議会に対する情報の提供状況及び4年間の臭気測定の結果を鑑み、今回の請願事項について対処できたと考え、処理完了として報告する。

ただし、臭気測定において、悪臭防止法の規制基準を超過することもあるため、第4次改善勧告の市の立入検査を実施し、敷料状況を確認するとともに、県と協力して臭気改善に向けて事業者への指導を継続していきます。

請 願

件 名 新発田城石垣の「孕み出し」防止対策に関する(求める)請願書
採択年月日 平成26年9月26日

処理経過の概要

平成16年に完成した三階櫓・辰巳櫓の復元に先立ち、「円弧滑り」と呼ばれる石垣の崩落を防止するため、平成14年度から15年度にかけて、堀の中に松杭を打ち込み、碎石を詰め込んだ「布団籠」を設置する工事を実施した。平成26年に標記請願を受けたことから、改めて、平成27年5月に近世城郭石垣調査の専門家を招聘し、現地調査を行った。専門家からは、急な石垣の崩落に備え、石垣の状態を詳細な写真で記録しておくことと石垣の動きを把握するため、観測が必要であるとの指摘を受けた。このことから、平成27年度に災害などで石垣が崩落した場合に、元の状態に積み直す際の参考とするため、石垣全体のデジタル写真データの作成を実施。また、平成28年度から年3回、石垣の動きを把握するため、レーザーで定点観測を継続して実施している。

令和6年度には、さらに詳細な石垣の状況を把握するため3Dレーザー測量を行った。

議員定数及び議員報酬に関するアンケート ご協力ありがとうございました

令和6年11月発行のしばた市議会だより等においてご案内しました、議員定数及び議員定数に関するアンケートの実施について、多くの方からご協力をいただき誠にありがとうございました。

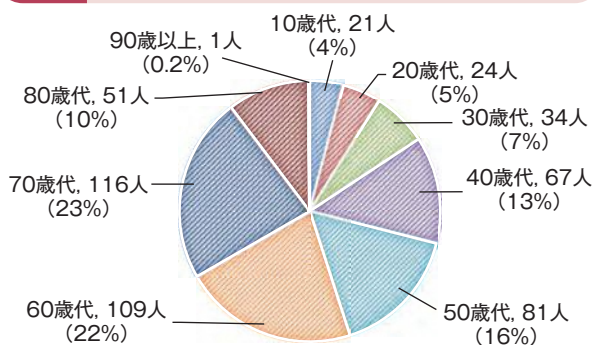
以下のとおり、アンケート結果がまとまりましたのでご報告します。皆さんのご意見を参考に、さらに議員定数及び議員報酬の検討を重ねていきたいと考えております。



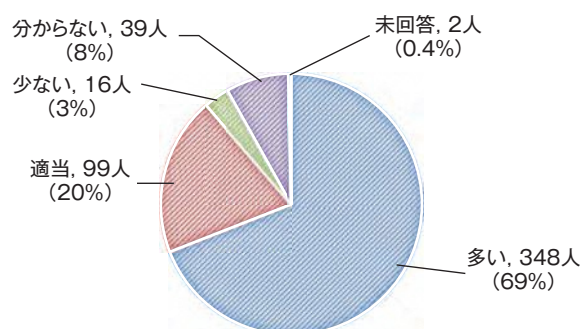
ご協力いただいた皆様に感謝申し上げます！

Q1～Q4の回答数：504人

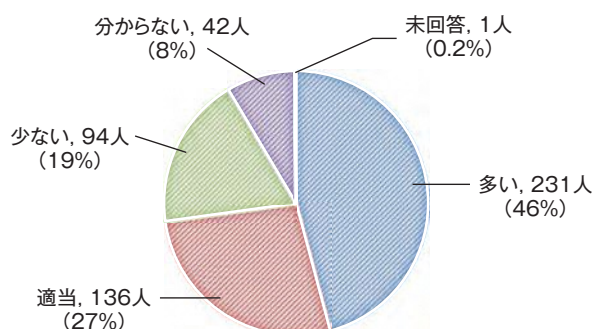
Q1 あなたの年齢は



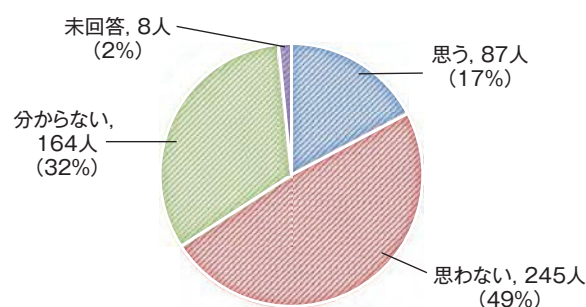
Q2 議員定数25名について



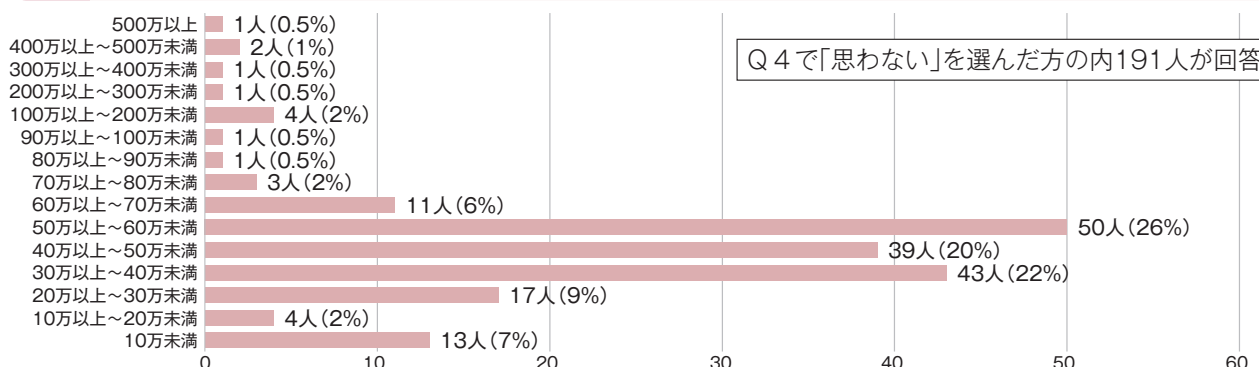
Q3 議員報酬(月額)396,000円について



Q4 議員報酬(月額)396,000円で議員を目指そうと思うか



Q5 どれくらいの報酬(月額)なら議員を目指そうと思うか



Q4で「思わない」を選んだ方の内191人が回答

議会報告会を開催します！

新発田 新発見
あるかも!?

議会報告会では、令和7年度新発田市一般会計予算関係を中心として2月定例会で審議された内容を報告するほか、意見交換も行います。

どの会場にご来場されても構いません。
お気軽にお越しください。



開催日	班	時 間	会 場
5月24日 (土)	1班	午前10時～	加治川地区公民館
		午後1時30分～	オープンスペース 市役所本庁舎 1階 札の辻ラウンジ
5月28日 (水)	2班	午前10時～	市役所本庁舎 4階委員会室
		午後1時30分～	オープンスペース 市役所本庁舎 1階 札の辻ラウンジ
5月31日 (土)	3班	午前9時～	議会報告会バスツアーを実施します。 ※参加には申込みが必要です。 詳しくは、5月1日号の「広報しばた」または市議会ホームページをご覧ください。
		午後1時30分～	オープンスペース 市役所本庁舎 1階 札の辻ラウンジ

各班の説明議員	
1班	比企広正、宮崎光夫、小川 徹、 惣山かすみ、加藤和雄、長島 徹、 渡邊喜夫、阿部 聡
2班	中村こう、板垣 功、湯浅佐太郎、 宮野清隆、高橋 茂、小柳はじめ、 高橋芳子、三母高志
3班	若月 学、五十嵐良一、板倉久徳、 宮本佳太、広岡けんじろう、 宮村幸男、小坂博司、石山洋子

議会報告会バスツアーは、市内公共施設をご案内しながら実施します。



札の辻ラウンジでは
オープンスペースで行います。
議員とフリートークしてみませんか。

Web議会報告会は 5月28日(水) 19時配信！

※当日「YouTubeLive」のチャット機能でいただいた質問にリアルタイムでお答えする予定です。
※すべてのご意見・ご質問にお答えできるとは限りませんのでご了承ください。

【参加方法】

新発田市議会のYouTubeチャンネルでライブ配信します。
右の二次元コードを読み取ってご覧ください。

ぜひ、チャンネル登録もお願いします。

※ライブ配信は、配信ページにアクセスしていただければどなたでもご覧いただけますが、チャットへの参加にはYouTubeへのログインが必要になります。



二次元コードを読み取ると
上の画面になります



議会からのお知らせ

6月定例会日程予定

日	月	火	水	木	金	土
6/1	2	3	4	5 議会運営 委員会	6	7
8	9	10 本会議 (提案理由説明 (委員会付託))	11	12	13 本会議 (一般質問)	14
15	16 本会議 (一般質問)	17 本会議 (一般質問) 議会運営 委員会	18 常任委員会 (総務)	19 常任委員会 (社会文教)	20 常任委員会 (経済建設)	21
22	23	24 議会運営 委員会	25	26 本会議 (議案等採決)	27	28

※請願・陳情の提出期限は5月30日です。
 ※変更等の場合は、ホームページ・エフエムしばた等でお知らせします。
 ※一般質問2日目及び3日目は、一般質問の通告議員が多い場合に行います。

ラジオは生放送から録音放送に変わりました

① FM放送

エフエムしばた(76.9MHz)による放送は、本会議一般質問及び代表質問のみを録音放送します。(放送日程はエフエムしばたのホームページなどでご確認ください)



② インターネットサイマルラジオ

右の二次元コードまたは、エフエムしばたのホームページバナーから聴くことができます。
 (放送日程は①FM放送と同じ)



本会議を生中継しています

市議会ホームページで生中継します。
 下の二次元コードまたは「新発田市議会」で検索し、「本日の議会中継」からご覧ください。



市議会ホームページはこちらから

新発田市議会



<https://www.shibata-shigikai.jp/>

市議会ホームページ画面



「本日の議会中継」の『生中継画面へ』をクリック
 (生中継の約10分前にこのボタンが出ます)



『生中継1へ』または『生中継2へ』をクリック

編集後記

新年度予算が承認され、新たな年度がスタートしました。広報しばたや今回のヨミネスでも、令和7年度予算の内容を掲載しておりますので、ぜひご覧ください。4月には「ももクロ春の一大事2025 in 新発田市」が開催され、たくさんの方々で賑わいました。今年度予算には、まちなかの賑わい創出に関するものも含まれています。多くの方々

に新発田に訪れていただき、活気あるまちとなるよう議会としても議論を深めてまいります。春の訪れとともに市民の皆様にとっても心地よい季節がやってきました。これからも皆様の声に耳を傾けながら、より良いまちづくりに向け進んでまいります。
 (文責 板倉久徳)

【広報広聴委員会】委員長／石山洋子 委員／板倉久徳・湯浅佐太郎・広岡けんじろう・高橋芳子・長島徹

令和7年5月15日発行 ©発行・編集／新発田市議会 広報広聴委員会 〒957-8686 新発田市中央町3丁目3-3 新発田市議会事務局
 © TEL 0254-28-9400 URL: <https://www.shibata-shigikai.jp/>

廃液を出さない環境対応印刷です

